

町の農家経済支援策は

町長 「JAようてい」とも十分協議し、しっかりと対応していきたい

三島

町長の行政報告の中で状況

概要が報告され、春からの長雨・異常低温の影響で水稻が「やや不良」と示され、小麦は30%以上の減収、馬鈴薯は小玉傾向で平成22年以来的減収、小豆については著しい不良となっている。

また、台風21号の被害についても生育期の後半期を迎える作物にとって大きな被害が出てきている。

今年の本町の農家経済については大変な落ち込みが予想される。本町の基幹産業である

本町の基幹産業である



三島 喜吉 議員

今年の本町の農家経済については大変な落ち込みが予想される。本町の基幹産業である農家経済については大変な落ち込みが予想される。本町の基幹産業である農家経済については大変な落ち込みが予想される。本町の基幹産業である農家経済については大変な落ち込みが予想される。

農家が来年の営農再開に支障が出ると想定される状態。本町としてどのように対応していくか、経済を支援していくための方策と見解を伺う。

農作物のGAP認証取得の推進について、農産物の生産履歴の開示等で顔がみえる農産物の生産が農業現場において必須になり、特にGAP（農業生産工程管理）の農産物の認証が推進されている。

このGAPにより農産物の食品としての安全を確保し、環境保全・労働安全・農業経営管理に関する取り組みを行うことで、持続可能な農業生産に繋げていき、農業活動を改善することで、より良い農業経営を実現する取り組みとなっている。

俱知安町から国際基準を満たした農畜産物の提供ができることにより、安全性の高い評価を受け、考える。そこで、本町としてど

町長

農家経済については大変な

落ち込みが予想され、本町の基幹産業である農家が来年の営農再開に支障をきたす状態であると理解している。

今後、作物等の生育管理・災害に耐えうる圃場管理等、災害時に迅速な対応が出来るよう今後の支援体制について関係団体と十分協議していく。

年々、自然災害における影響が非常に大きいことから、今後さまざまな国の支援策、あるいは保険関係の加入促進に力を入れ、農業者が年間通して経営が安定していく取り組みを町としても支援

町長

共済の早期支払いや災害等

の資金の特例措置、農用ハウスの導入の支援等の支援策が国として打ち出されている。

また、来年の営農にもかなり影響が出ると予想されるので、年末の資金調達についても「JAようてい」とも十分協議し、しっかりと対応していきたい。

また、来年の営農にもかなり影響が出ると予想されるので、年末の資金調達についても「JAようてい」とも十分協議し、しっかりと対応していきたい。

三島

経済支援策として具体的な

方策について伺う。

また、来年の営農にもかなり影響が出ると予想されるので、年末の資金調達についても「JAようてい」とも十分協議し、しっかりと対応していきたい。

また、来年の営農にもかなり影響が出ると予想されるので、年末の資金調達についても「JAようてい」とも十分協議し、しっかりと対応していきたい。

また、来年の営農にもかなり影響が出ると予想されるので、年末の資金調達についても「JAようてい」とも十分協議し、しっかりと対応していきたい。

町長

町として「JAようてい」

の農業振興計画の方策として第三者認証GAP導入の検討、残留農薬検査の継続実施、資源環境型農業の確立が謳われているため、「JAようてい」

う取り組みでいくか町長の考えを伺う。

と連携をとりながら、GAP認証に向けた取り組み等に対して食の安全・安心対策の強化等、今後支援策を検討し、選ばれた産地形成に向けていきたいと考えている。



長雨・異常低温影響で減収

一般質問 三島喜吉